

大会注意事項


- (1) ベンチにはチーム代表者、監督、登録選手、コーチ2名、スコアラー以外は入れない。
- (2) ベンチは組合せの若い番号を一塁側とする。
- (3) ベンチへの入場。同一チームの各プレーヤー、監督、コーチは同一、同型、同意匠のユニフォーム（帽子・アンダーシャツ・ストッキングを含む）を着用しなければならない。（ロングパンツは着用不可）また、代表、スコアラーは同一チームの帽子を着用する。
- (4) 本大会の試合回数は6回（Jの部は5回）とし、1時間20分（Jの部は1時間10分）を過ぎて新しいイニングに入らない。但し、後攻チームが得点をリードしている場合において、先攻チームの攻撃終了時に試合時間が1時間15分を超えている時は、その時点で試合終了とする。
- (5) 試合開始後、暗黒、降雨などにより中止した場合は再試合とする。但し、5回表の攻撃が終了して、後攻チームの得点が先攻チームの得点より多い場合または5回裏の途中で試合終了が命じられた時に後攻チームの得点が多い場合は試合成立とする。
- (6) 3回15点、4回10点、5回7点差（Jの部は3回10点、4回7点差）がある場合はコールドゲームを採用する。勝敗が決しないときは特別ルールにて決する。但し、決勝戦は6回、時間は1時間30分（Jの部は5回、時間は1時間20分）とし同点の場合は特別ルールにて勝敗を決する。

《特別ルール》

継続打順で前回の最終打者を一塁走者、その前の打者を二塁の走者とする。ノーアウト一塁の状態から1イニングを行い得点の多いチームを勝ちとする。勝敗が決しない場合は抽選にて決する。（選手交代可）

- (7) 投手板よりホームベースまでの距離16m、塁間23m（Jの部は同14m、同21m）とする。
- (8) 大会使用球は連盟公認、ケンコーボールJ号を採用する。
- (9) 投手は投手板に触れてサインを受けること。
- (10) ボークは採用する。
- (11) 監督、主将がタイムを要求せず、みだりにベンチを出てはならない
- (12) タイムはプレーヤーの要求したときではなく審判の認めた時である。打者がタイムを要求する時期は、投手が投球姿勢の構えに入る前でなければならない。また、打者は投手が投球動作に入ったら打席から出てはいけない。
- (13) 守備側のタイムで試合が停止されたときは、その間、投球練習（捕手を相手に）をしてはいけない。なお、守備側、監督、攻撃側のタイムは各3回までとする。（6）《特別ルール》については、各1回タイムを追加する。
- (14) 次打者は必ず次打者席に入ること。投手でも実行すること。
- (15) 抗議のできるものは当該選手または監督のうち1名とする。
- (16) どんな理由があろうとも、相手チームのプレーヤー及び、審判員に対して、大声で野次・暴言・暴力を禁ずる。
- (17) 競技技術ならびにマナー向上のために試合のスピード化と学童らしい態度を心掛けること。攻守交代は、駆け足でおこない特に無用な牽制球はなくし、できる限り最終回までおこなえるよう全員が協力すること。
- (18) 選手・監督・コーチならびに応援団（チーム関係者）の言動については、当該チームが一切の管理責任を負うものとする。大会本部が目にも余る言動と判断した場合は関係者を退場処分とする。
- (19) ベースコーチは、一塁側、三塁側とも攻撃が始まるまでに必ずヘルメットを付けていること。

- (20) 金属バットは (J・S・B・B) 連盟公認のものを使用する。
- (21) 出場資格に不備があった場合。試合前、あるいは試合中に発見されたときは、相手チームに勝利を与える。試合終了後に発見されたときは次の相手チームに勝利を与える。決勝戦終了後に発見された場合は、準優勝チームに勝利を与える。
- (22) 大会中に不測の事態 (事故やトラブル) が起きたとき、大会事務局の決定に従うこと。
- (23) 選手の不正登録。試合の際に登録外の選手を不正出場させたチームは失格になるとともに、チーム代表者、監督は一年間、全京都少年野球振興会学童野球に登録することはできない。また、試合におけるトラブルは審判の判定 (審判部・審判部長) に従うこと。
- (24) 危険防止のため捕手は必ずレガーツ・ヘルメット・プロテクター・ファールカップを着用しなければならない。なお、準備投球時でも捕手はマスクを着用すること。
- (25) 主将の背番号は10番とし、その他登録選手の背番号は0番～99番 (監督30番・コーチ29番・28番) とする。なお、連合チームの場合でも背番号の重複は認めません。
- (26) ルールは2022年度公認規則に準じます。
- (27) 第1試合のチームの方は、試合開始90分前に試合会場に集合し、グラウンド設営のお手伝いをお願いします。
- (28) 全京都少年野球振興会では、バックネット裏でのビデオ撮影は禁止する。
- (29) お車は太陽ヶ丘、岡崎公園、横大路公園を除き、原則各チーム3台 (当振興会発行の所定駐車カードを必ず持参し外から確認できるようにする) 迄とする。なお、規則を守れないチームについては、一年間当振興会主催大会への登録を認めません。
- (30) 決勝戦については、学校行事、又はその他の事情があっても日程変更はいたしません。

雨天の場合の連絡網 ※雨天時は各部 (A・B・J) の通達用グループLINEにて情報発信します。

府 下 宇治市・城陽市 滋賀・大阪・奈良・他県	}	会 長 大 西 祥 三 携 帯 0 9 0 - 3 9 9 7 - 3 0 6 3
-------------------------------	---	---

北 下 京 左 京 上 京 中 京 東 山 伏 見 山 科 南 右 京 西 京 向日市・長岡京市・大山崎町	}	副会長 久 保 竜 治 携 帯 0 9 0 - 3 7 2 8 - 4 9 6 5
--	---	---

◎電話にて連絡の場合は上記地域担当者へお願いします。